



# 施策マネジメントシート(2020年度の振り返り、総括)

作成日 2021 年 6 月 1 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	生活水道課	
				課長	金子 喜一郎	
施策	11	水道の整備	関係課			

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
			2 水道事業の健全運営	町民	適正な料金で水道水の供給を受けられる。
			3		
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清浄な水道水の供給を図り、安心安全な水道への切り替えを促進します。</li> <li>・老朽化した施設の更新を計画的に進めるため、財政健全化計画やアセットマネジメントを含む水道ビジョン等を策定し、限られた財源で最大限の成果が得られるよう取り組みを推進します。</li> </ul>
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A 水道普及率	%	実績値	96.6	96.7	96.7	96.7
		目標値		96.7	96.7	96.8	96.8	96.8	96.9	96.9
B 水質に関する苦情件数	件	実績値	0	0	0	0	0	0		
		目標値		0	0	0	0	0	0	0
C		実績値								
		目標値								
D		実績値								
		目標値								
E		実績値								
		目標値								

指標設定の考え方	<p>A) 数値が高まれば、結果として町民が安全な水道水の供給を安定して受けられていることに繋がるため成果指標とした。給水人口/給水区域内人口(給水人口は町営水道のみ)</p> <p>B) 件数が減れば、町民が安全な水道水の供給を安定して受けられているといえるため、成果指標とした。広範囲にわたる相当な被害で直接町に苦情を申し入れた件数。</p>
----------	---

目標値設定の考え方	<p>A) 水道普及率を96.9%まで向上させる。近年のライフスタイルの変化により、自家水(井戸水)などの水質が変動してきているため、地下水を利用している町民の方々に水の安全性を確認してもらい、自発的に町営水道へ移行していただく。</p> <p>B) 水質監視の強化や危機管理体制の充実を図ることにより、安心安全な水道供給に努め、苦情件数0件を目指します。</p>
-----------	--

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水の発見などに対する通報を行う。</li> <li>・利用者として常に水道水の品質を監視する。</li> <li>・水道使用料を未納無く納入する。</li> </ul>	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定水量を確保し、水質を向上させる。</li> <li>・水道施設を整備(新規・更新)する。</li> <li>・効率的な運営を図り、可能な限り水道料金の値上げ抑制を図る。</li> </ul>
---------------	--	--

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に比例し、水道料金の徴収額は上がらないことが予想される。</li> <li>・すべてが上水道事業となったため、簡易水道の補助対象外となり、併せて簡易水道債・過疎債も対象とならないため、財源(特定)の確保が難しくなる。</li> <li>・安全で安心な水道水の維持に欠かせない技術者不足が懸念される。</li> <li>・令和2年度を期限に要請されていた「みなかみ町上水道事業経営戦略」を策定した。</li> </ul>	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道料金の料金改定を望む声が寄せられている。</li> <li>・突発的な断水の周知が行き届かない事がある。特に水上地区では防災無線が無いため、問い合わせが多く寄せられる。</li> </ul>
-----------	---	--

施策	11	水道の整備	主管課	名称	生活水道課
				課長	金子 喜一郎

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>上水道事業は当初の認可より50年以上が経過し、水道普及率は上げ止まりに近い状態である。苦情に関しては水質の苦情は近年はなく、安心安全な水道水を供給できている。</p> <p>他団体と比較するため普及率の計算方式を統一した結果、96.7%から99.7%と向上したが現状は変わらない。</p>
		<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>沼田市99.9%・川場村98.4%・昭和村99.3%であり、水道技術の進歩により他市町村とも高い水準を維持している。</p>
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	<p>成果指標がすでに高い水準にあり、これを維持することが目標のとおり達成している</p>

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1	A 水質基準超過件数	件	実績値	0	0	0
			目標値		0	0	0	0	0	0
	B		実績値							
			目標値							
2	A 有収率	%	実績値	78.2	78.2	78.2	78.2	78.2		
			目標値		78.3	78.5	79.0	79.5	79.7	80.0
	B		実績値							
			目標値							
3	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							
4	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							

基本事業名	今後の課題		今後の取り組み(案)
	1	<p>①原水の管理が重要であり、近年の気象条件などでは、素早い対応がますます重要になる。</p> <p>②漏水による断水が多くなっており、老朽管の更新を早急に行い、水道水の質の向上や安定した供給を行う必要がある。</p>	<p>①ストックマネジメントを行い、管路や施設の更新を効率的に行う。</p>
2	<p>①各上水道の接続や、統廃合を行うことで施設を減らし経常支出を抑制する必要がある。</p>	<p>①統廃合の可能性を検討する</p>	
3			
4			

# 11\_水道の整備

令和 3 年 6 月 12 日作成 (令和 3 年 6 月 12 日更新)

事務事業		000011		【繰出金】水道事業会計				① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費		70,481,271 円	
施策体系	施策	11		水道の整備				一般会計からの繰出事務(基準内繰出分) ・建設改良等に伴う出資金繰出 ・起償償還等に係る補助金繰出 ・消火栓新設に係る工事負担金繰出 ・消火栓維持管理に係る負担金繰出			-			事業実績		出資金・補助金受入業務	
	基本事業	02		水道事業の健全運営										②事務事業の課題			
根拠	有	組織	生活水道 課		上下水道 係				課題なし			令和元年度		令和2年度		単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	4	項	3				目	1	63656		70,482	
		29 ~ 年間															